

トルコ リンゴの出荷量が約25%減少

[FreshPlaza](#) 2024年10月28日

トルコの果実輸出業者デミルフレッシュフルーツ社のオーナーであるアルペル・ケリム氏は、世界のリンゴ生産量が少ないようだが、トルコのリンゴのシーズンは、出荷量が少ないにもかかわらず非常にポジティブにスタートしたと話す。(以下「」は同氏の話)

「トルコのリンゴシーズンはガラ品種から始まり、他の品種もそれに続いている。今シーズンこれまでのところ、弊社としては順調である。弊社のリンゴの主な焦点は常にインドであるため、ヨーロッパ市場の状況よりもそちらの状況に通じている。インドでは国内産のリンゴが不足しているが、世界中の国々にも同じことが言える。トルコでリンゴの生産量が今年減少したのと同様に、世界的にリンゴ生産量が減少した。」

トルコにとって、生産量の減少によって状況は変わらないとケリム氏は強調する。出荷量の減少は、トルコ産リンゴの価格にも影響を与えている。

「トルコのリンゴ生産を見ると、昨シーズンに比べて出荷量がほぼ25%少ないようだ。今年は天候が悪く、その結果として着果数が少なくなった。これは、トルコ国内の価格が最近のシーズンに比べてかなり高い理由でもある。」

紅海危機が依然として続いているため、同社はインドの他の港に出荷先を変更しなければならなかった。ケリム氏は、同社が再びいつもの港により短い輸送時間で出荷できるようになることが重要であると言う。

「弊社にとって、リンゴの主な出荷先はインドのチェンナイ港だが、残念ながら現時点ではこの港への輸送時間を短縮することはできない。ナバシェバ港など別の港があるので、今はその港に向けてリンゴを積み出している。しかし、弊社の主要な取引先はチェンナイにいたので、同港へ迅速に到達できる航路ができるだけ早く必要である。」

ケリム氏は、価格の高騰は出荷量の減少の影響だけではなく、トルコの極端なインフレが自国通貨に圧力をかけている結果でもあると述べた。

「トルコのリンゴの価格は、昨年の価格と比較すると高水準で始まった。これは、トルコのインフレ率が高すぎ、通貨が圧迫されているためである。このことはまた、製品の販売がより困難になる中、トルコの輸出業者にとって価格設定が現在の主な課題となっている理由である。現時点ではこの価格で、他の名の知れた原産国と競争することはできない。」

全体として、ケリム氏は、同社が対処しなければならない明らかな課題はあるものの、今シーズンに希望を持っている。

同氏は、「インド市場での直接のライバルである複数の輸出国を含め、世界中でリンゴが不足しているため、個人的には大きな需要を期待している。バイヤー達はシーズンの終わりまで、より多くの量を探し求めることになると思う」と締めくくった。

執筆者: ニック・ピーターズ

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)